



©2005 石塚真一/小学館

第 323 号(令和5年(2023 年)12 月6日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

### ～講演会「雪崩から身を守るために」in 白馬 開催について～

開催日時: 2023 年 12 月 11 日(月) 14:00~21:00

開催場所: 白馬村ウイング21(長野県北安曇郡白馬村北城 2066)

主催 : 雪崩事故防止研究会

共催 : 白馬村・小谷村・(一社)白馬村観光局・(一社)小谷村観光連盟

申込 : 事前申込(定員 500 名 無料)

[https://www.assh1991.net/event/4th\\_hakuba/](https://www.assh1991.net/event/4th_hakuba/)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>  
を確認し万全の準備で入山を!

### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

11 月 4 週には、1 件の山岳遭難が発生しました。悪天候の中、単独で常念岳から燕岳に向けて縦走中、疲労と寒さなどにより行動不能となってしまったものです。北アルプス等の高山だけでなく、標高の低い山域でも徐々に降雪が観測されるようになっていきます。今後、年末年始に向けて各山域では、更に積雪が増える可能性があります。積雪は、冬山登山において、体力の消耗や行動時間に大きく影響します。計画段階から積雪を考慮した余裕のある日程と積雪に対応できる装備品の携行を心掛けましょう。また、この時期は、日没時刻が早いため、里山登山やハイキングなどでもゆとりある行動とヘッドライトや防寒着、行動食を携行し、「もしも」に備えましょう。

車で登山口まで行かれる方は、スタッドレスタイヤへの交換は済んでいますか。長野県内は平地でも積雪が観測され、場合によっては登山口まで通じる道路が、凍結している場合があります。途中、車のスリップ事故や立ち往生して車が動かない事態に備え、あらかじめスタッドレスタイヤへの交換やタイヤチェーンの積載確認等も忘れずをお願いします。

12 月に入り、いよいよ冬山シーズンとなりました。

例年この時期には、登山のほかバックカントリーやアイスクライミングの遭難も発生しています。

バックカントリーやアイスクライミングは、通常の冬山登山よりもリスクのある行動となります。

安全に楽しむためには、冬山登山の経験・知識・技術にプラスしてそれぞれの特殊なスキルが求められます。講習会等を通じて正しい知識と技術の習得に努めてください。

今後は、降雪により登山者のトレース(足跡)が消失するため、ラッセルやルート判断を行わなければならない、夏山登山以上に時間や体力、知識や技術が必要になります。

特に単独登山は、その全てを一人で行わなければならないことから、慎重な計画と無理のない行動をお願いします。

積雪は、冬山登山において行動時間に大きく影響します。計画段階から、積雪を考慮した余裕のある日程と積雪に対応できる装備品の携行をお願いします。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11月24日	北アルプス 大天井岳	男	42	無事救出	疲労	単独で常念岳から燕岳に縦走中、疲労により、行動不能

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～12月3日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	296	37	3	156	130	326	196
内)単独登山	111	19	0	53	39	111	72
内)山菜きのこ採り	9	2	1	2	7	12	5
令和4年(2022年)	276	37	4	135	125	301	176
前年同期比	+20	±0	-1	+21	+5	+25	+20
内)単独登山	+15	+2	-3	+17	-1	+15	+16
内)山菜きのこ採り	-12	-3	-1	-2	-3	-9	-6

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～12月3日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	69	23.3%	11	0	32	75
	後立山	58	19.6%	7	2	38	64
	その他	35	11.8%	4	0	15	37
	計	162	54.7%	22	2	85	176
中央アルプス	19	6.4%	1	0	13	8	22
南アルプス	5	1.7%	1	0	2	3	6
八ヶ岳連峰	42	14.2%	3	0	18	25	46
その他の山岳	68	23.0%	10	1	38	27	76
計	296		37	3	156	130	326

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～12月3日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	87	29.4%	23	0	66	0	89
転倒	72	24.3%	0	0	72	0	72
病気	24	8.1%	3	0	0	21	24
道迷い	29	9.8%	0	0	0	41	41
落石	8	2.7%	1	0	7	0	8
雪崩	3	1.0%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	42	14.2%	3	0	0	45	48
不明・他	31	10.5%	4	3	9	22	38
計	296		37	3	156	130	326

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～12月3日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	1	6	7	51 22.9%	0	0	0	3	3	14 13.6%	10	65 19.9%
20代	0	0	9	15	24		0	0	3	2	5		29	
30代	3	2	10	5	20		1	0	0	5	6		26	
40代	6	0	12	9	28	69 30.9%	1	0	11	8	20	47 45.6%	48	116 35.6%
50代	7	0	26	8	41		3	0	16	8	27		68	
60代	4	0	26	22	52	103 46.2%	1	0	15	9	25	42 40.8%	77	145 44.5%
70以上	11	1	17	22	51		0	0	10	7	17		68	
計	31	3	101	88	223		6	0	55	42	103		326	
比率	68.4%						31.6%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp  
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝